

大幅賃上げで
暮らしを守ろう

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.1058(40-3) 2026年2月12日

生活苦しい58%、人員不足82% マイナス受けた・見聞き4割超

2026 春闘統一アンケート中間報告

単位：％

回答：1,282 人

カッコ内前年

生活実態	かなり苦しい	23.7 (23.3)
	やや苦しい	33.9 (32.8)
	まあまあだ	38.5 (37.7)
	ややゆとりがある	2.6 (4.3)
	ゆとりがある	1.3 (1.8)
人員	不足している	81.7 (86.1)
	足りている	18.3 (13.9)
関心事 (3つ選択)	健康不安	26.0 (23.8)
	雇用不安	9.1 (7.8)
	航空安全への不安	11.5 (13.5)
	技術力・スキル低下	14.0 (16.0)
	旅客サービス低下	9.1 (7.1)
	労働条件切り下げ不安	16.2 (18.4)
	組合力低下	14.1 (13.4)
	コロナや感染対策	3.9 (3.4)
安全	安全は向上した	11.7 (10.2)
	安全は低下した	25.4 (31.7)
	どちらとも言えない	62.9 (58.1)
	ヒヤリハット経験	22.1 (40.3)
	ヒヤリハットなし	77.9 (59.7)
ハラスメント	受けたことがある	14.7 (10.5)
	見聞きしたことがある	27.9 (24.1)
	ない	57.4 (65.4)

※項目ごとの回答率。

コロナ禍以降、賃上げは続いているものの、物価上昇には追いつかず、実質賃金は4年連続でマイナスが続いています。航空連の「春闘統一アンケート」からも、1年前と比べ私たちの生活が依然として十分に改善していない実態が明らかになりました。人員不足は8割を超え、安全面の向上も十分とはいえません。さらに、ハラスメントの体験者は見聞き含め4割を超え、対策が急務であることも中間点検で浮かび上がりました。(表参照)

生活実態では、「かなり苦しい」「やや苦しい」を合わせ57.6% (前回 56.1%) となりました。「かなり苦しい」は前回比 0.4 ポイント増、「やや苦しい」が 1.1 ポイント増と、厳しさが増えています。

人員については、81.7%が不足していると感じており、「足りている」割合は 18.3%にとどまりました。依然として8割超が人員不足を実感しています。

関心事(3つ選択)では、「健康不安」26.0%が最も高く、次いで「労働条件切り下げ」16.2%、「組合力低下」14.1%、「技術力・スキル低下」14.0%、「航空安全への不安」11.5%となりました。安全については、「向上した」11.7%に対し、「低下した」は 25.4%、「どちらとも言えない」62.9%でした。「ヒヤリハット経験」は 22.1%と前年対比で 18 ポイント減少しましたが、具体的な事例として 80 件のコメントが寄せられています。

昨年から調査項目に加えたハラスメントについては、「受けたことがある」14.7% (前年比 4 ポイント増)、「見聞きしたことがある」が 27.9%で、合わせると 4 割を超えました。

寄せられたコメントは、アンケート結果とあわせて分析し、より良い職場環境の構築に向け活用してまいります。

これから春闘の労使交渉が本格化します。生活を守る賃上げや勤務改善など、より良い働き方を目指し取り組んでいきましょう。

以上